

平成30年6月21日
国土交通省九州地方整備局
筑後川ダム統合管理事務所

【速報】 6月19～20日の大雨における
松原ダム及び下釜ダムの防災操作の効果について

松原ダム及び下釜ダムでは、6月20日に防災操作を行いました。

両ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約4割低減しました。

これにより、ダム下流の^{こぶち}小湊水位観測所地点において、河川の水位を約45センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

・松原、下釜の両ダムでは、20日4時00分に1, 202 m³/sの流入（下釜ダム通過量を除く）があり、そのうち、518 m³/sを貯留して684 m³/sを流しました。

^{なかばる}
・中原雨量観測所の総雨量：245mm（19日6時～21日9時）

^{なかばる}
・中原雨量観測所の最大1時間雨量：40mm（20日2時～3時）

※観測所所在地

^{こぶち}
・小湊水位観測所：大分県日田市若宮町地先

^{なかばる}
・中原雨量観測所：熊本県阿蘇郡南小国町中原字原地先

・今後も梅雨前線に伴う降雨が予想されますので、防災体制を継続します。

筑後川ダム統合管理事務所HP

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

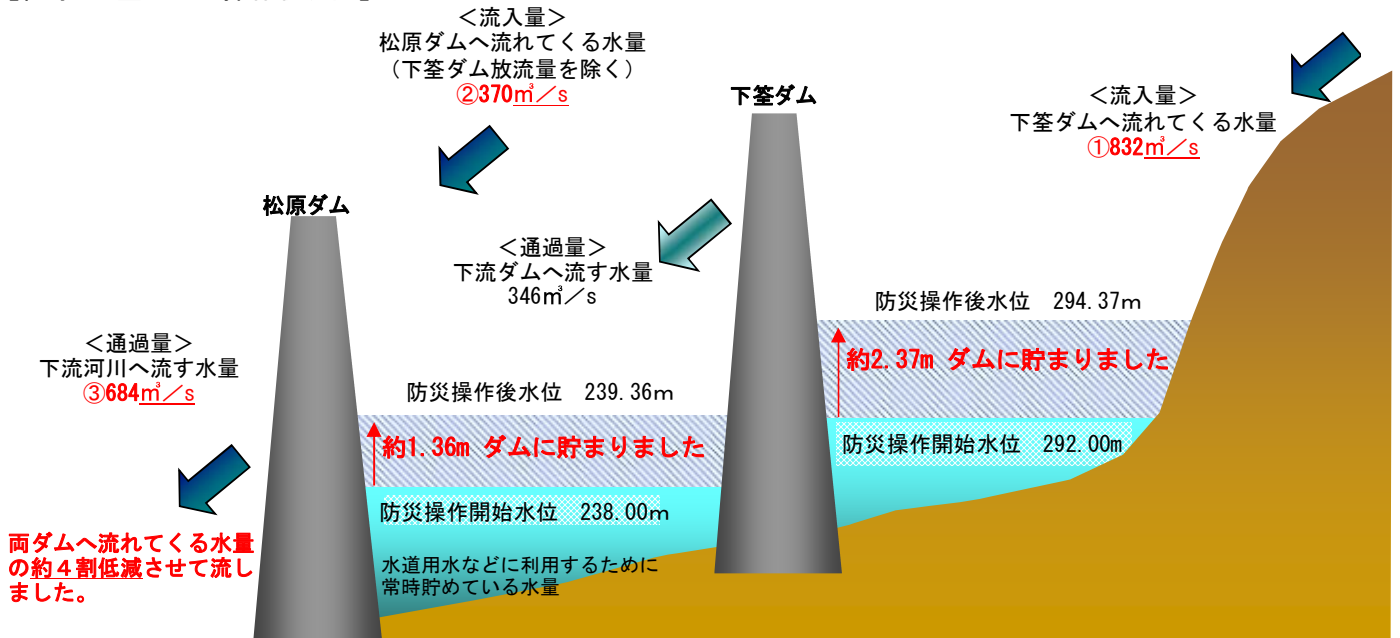
問い合わせ先：国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

・技術副所長 志賀 三智 ・管理課長 原 和久

電話：0942-39-6651（代） FAX：0942-35-8242

【6月20日4時00分時点】

【松原・下釜ダムの操作状況図】



< 約4割 ≡ 1 - ③ ÷ (① + ②) >

※ 観測値は暫定値のため、確定値ではありません。

【松原・下釜ダムの効果】

